

SAMPLE

特集レポート No. 078

## Edtechの最新動向

*Strictly Confidential*

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

## はじめに

---

- 金融業界では”FinTech (Finance + Technology)”、広告業界では”AdTech (Advertisement + Technology)”など、IT技術をもとに生み出されたX-Techビジネスが注目されてきている。”FinTech”や”AdTech”の次に来るといわれているのが”EdTech (Education + Technology)”である
- 教育 + ITを意味する”EdTech”はアメリカを起点に日本でも注目が集まりはじめ、2011年以降急速なスピードで教育産業に浸透しつつある
- 本レポートでは主要サービスであるスタディサプリ、レアジョブ、コードタクトを取り上げ、国内のEdTechビジネスの現在と今後の展望を考察する一助としたい

# 本資料の流れ

---



I. EdTechの概要

II. EdTech関連企業の動向

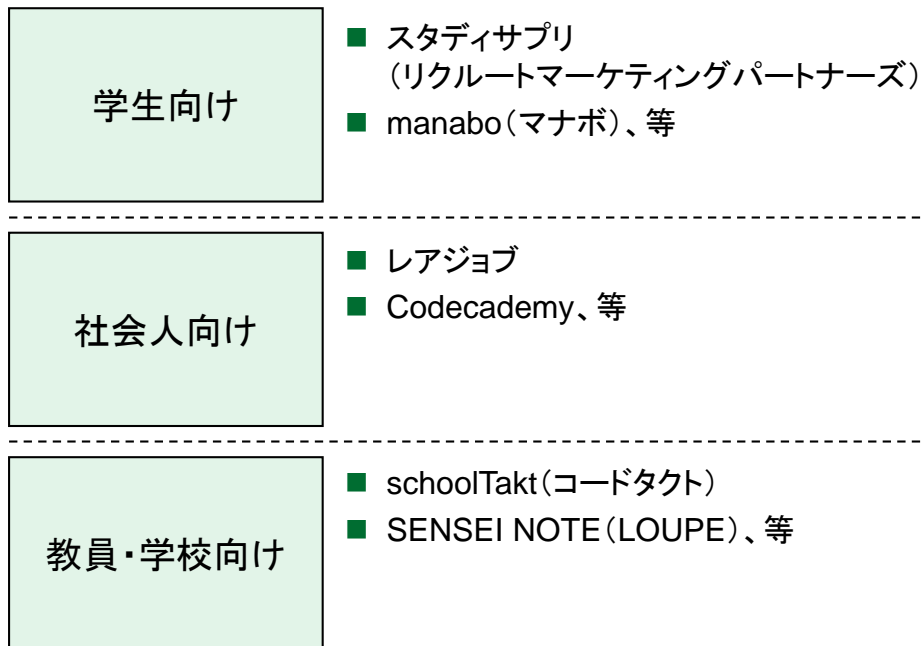
# EdTechの分類

- EdTechの主要サービスとしては、学生向けサービス・社会人向けサービス・教員・学校向けサービスがある
  - 学生向けサービスの特徴は安価にオンラインで教育サービスを提供することである

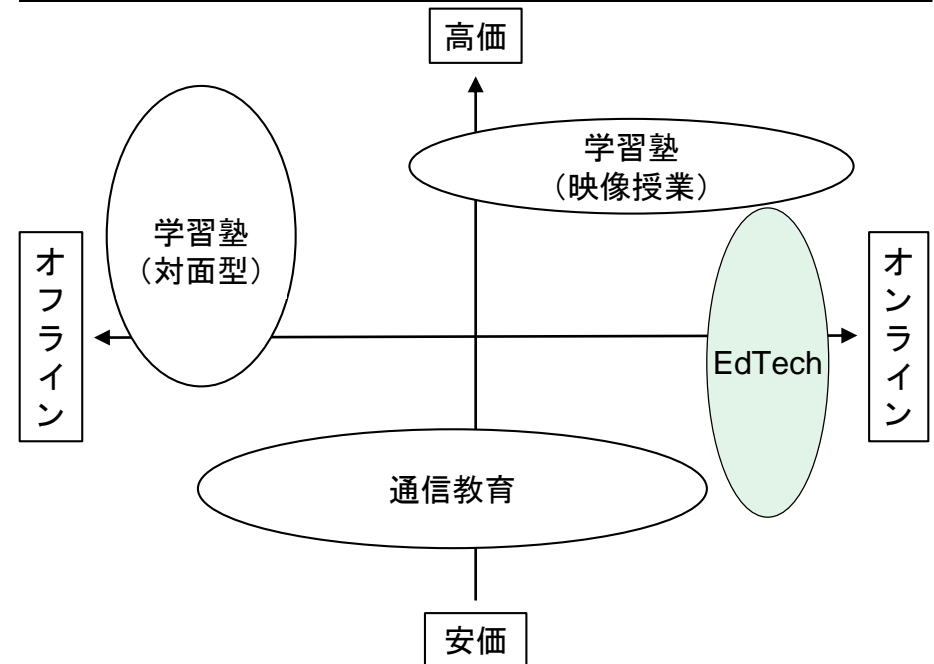
EdTechとは？

デジタルテクノロジーを活用し、教育という、仕組みや産業(ビジネスモデル)、学習スタイル、コンテンツなどイノベーションを起こすムーブメント

## EdTech業界の 카테고리別主要サービス



## 教育産業における”EdTech”の位置付け

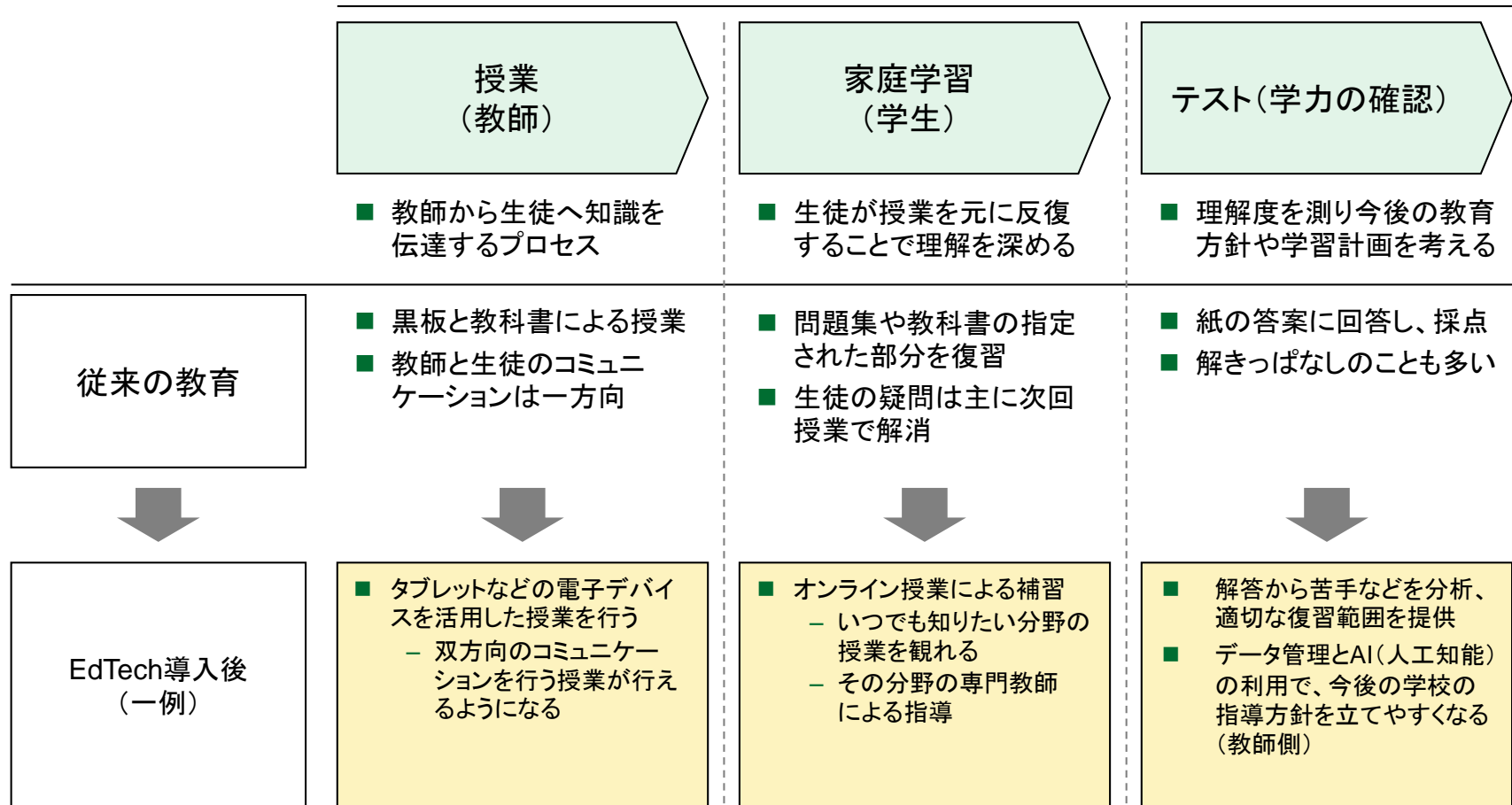


出所：総務省「教育IoTの今と未来～第二回地域IoT実装推進タスクフォース～」2016年

# EdTech導入による教育プロセスの変化

- EdTech導入により、授業・家庭学習・テストなどといった一般的な教育のプロセスが変化することが期待できる

## 一般的な教育のプロセス

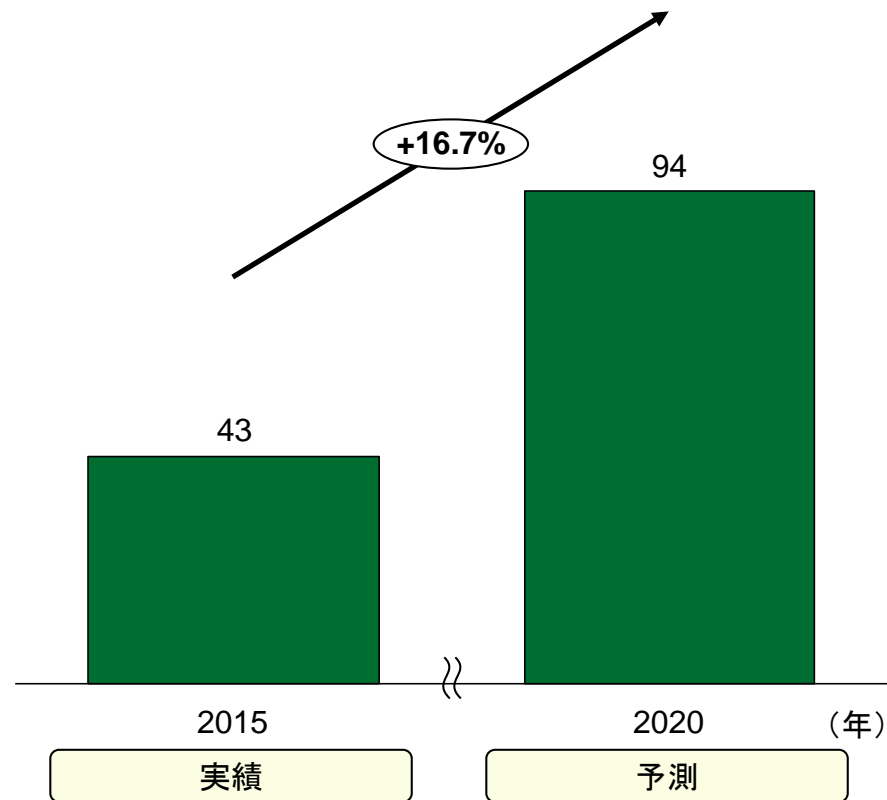


# 世界のEdTech市場の市場規模推移

- EdTechの市場規模は2015年から2020年にかけて、年平均成長率16.7%で成長し、940億米ドル(約10兆円<sup>\*1</sup>)になることが予測される

## 世界のEdTech市場規模推移と予測

(単位: 十億米ドル)



注: \*1. 1米ドル=110円で計算

出所: Markets and Markets "Education Technology (Ed Tech) and Smart Classrooms Market by Hardware (IWB, Projectors, Displays, Printers), Systems (LMC, LCMS, LCDS, SRS, DMS), Technologies (Gaming, Analytics, ERP, Dashboards) - Global Forecast to 2020"

## SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャンネル 特集レポート にてご覧ください。

特集レポート一覧はこちら ▶

“業界チャンネル 特集レポート”とは、

経営コンサルタントの目線で特に伸びているビジネスに注目して分析。  
その成功の鍵や今後に言及し、「打ち手」を導出します。

